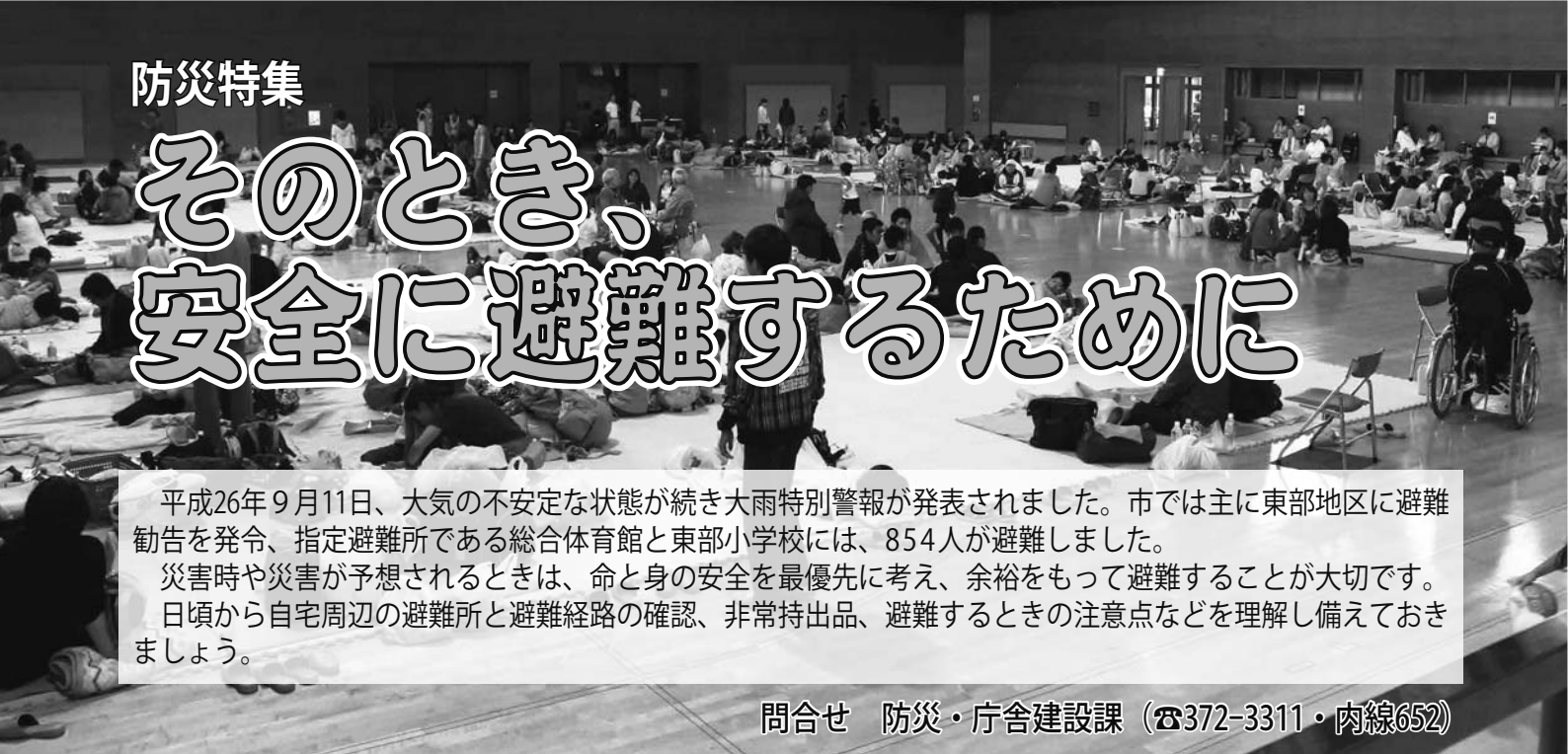


そのとき、安全に避難するために

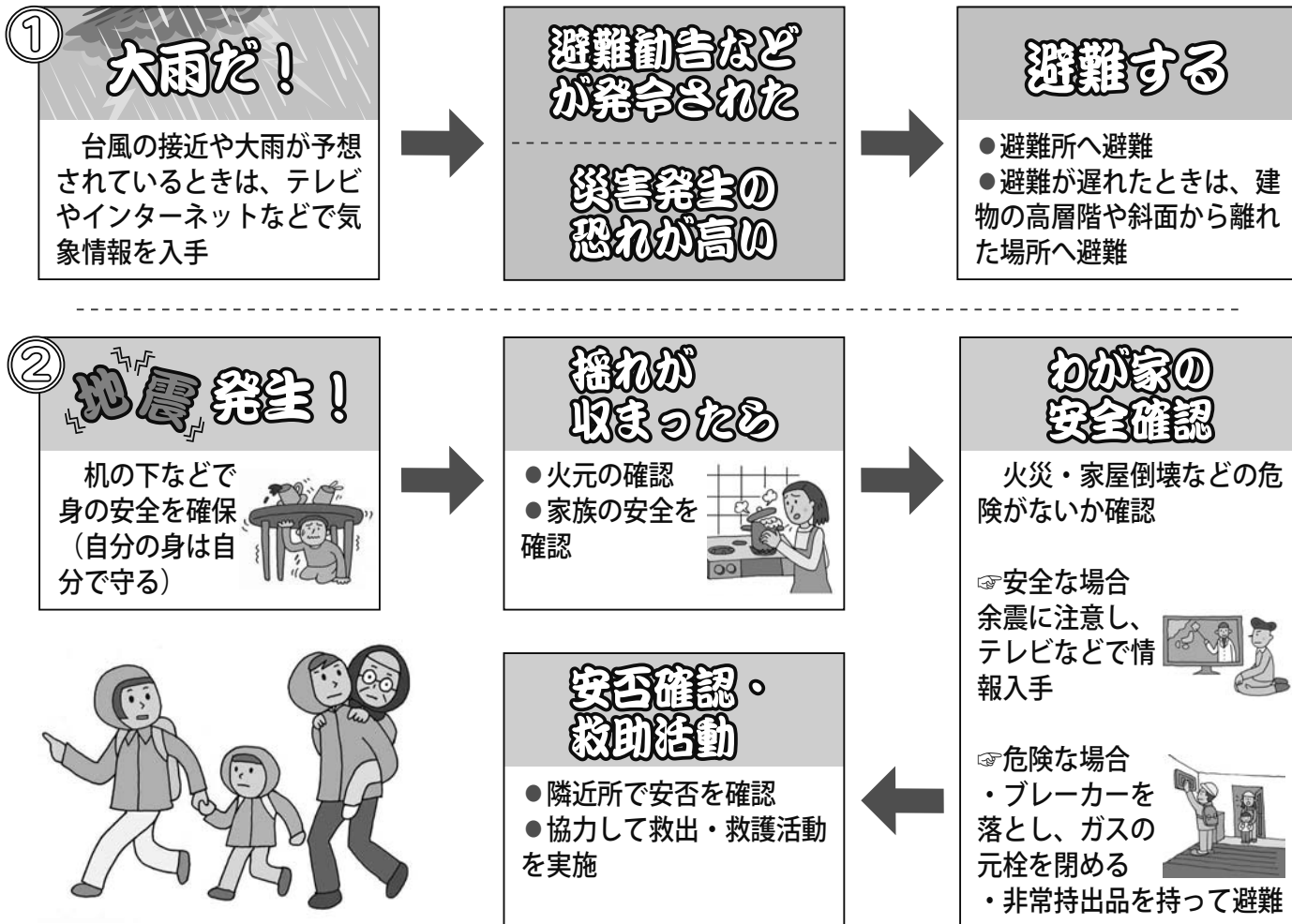


平成26年9月11日、大気不安定な状態が続き大雨特別警報が発表されました。市では主に東部地区に避難勧告を発令、指定避難所である総合体育館と東部小学校には、854人が避難しました。

災害時や災害が予想される時は、命と身の安全を最優先に考え、余裕をもって避難することが大切です。日頃から自宅周辺の避難所と避難経路の確認、非常持出品、避難するときの注意点などを理解し備えておきましょう。

問合せ 防災・庁舎建設課 (☎372-3311・内線652)

災害発生！ そのときどうする？



◆ 3日分は蓄えを

家屋が無事な場合でも、数日間は水や食料、電気、ガスなどの供給が途絶える可能性があります。

少なくとも3日間は生活できるように、日頃から蓄えておきましょう。

◆ 非常持出品

飲料水、非常食、懐中電灯、雨具、着替え、小銭、保険証、携帯ラジオ、携帯電話（充電器）など
＊リュックサックなど背負える物に入れ、家族全員が分かるところに準備しておきましょう。



◆指定避難所一覧

	名称	所在地
東部地区	東部小学校	中央4丁目4
	北の台小学校	共栄町4丁目6-1
	▲東部中学校	美咲野1丁目12-1
	北広島高校	共栄305-3
	総合体育館	共栄315-2
	▲中央公民館	朝日町5丁目1-1
	▲東記念館	朝日町5丁目1-2
	▲稲穂保育園	稲穂町東1丁目6-1
北広島団地地区	地域サポートセンター ともに(旧緑陽小学校)	緑陽町1丁目2
	緑陽中学校	緑陽町3丁目4
	緑ヶ丘小学校	高台町2丁目1
	すずらん保育園	高台町7丁目4
	団地住民センター	泉町1丁目1
	双葉小学校	若葉町3丁目12
	広葉交流センター (旧広葉小学校)	広葉町3丁目1
	広葉中学校	広葉町5丁目1
西の里地区	すみれ保育園	広葉町2丁目4-1
	西の里小学校	西の里401
	西の里中学校	西の里790-1
	西の里ファミリー体育館 *12月末(予定)までは、 利用できません。	西の里南1丁目2-3
	西の里会館	西の里南1丁目2-2
大曲地区	北広島西高校	西の里東3丁目3-3
	札幌日大高校	虹ヶ丘5丁目7-1
	大曲小学校	大曲柏葉2丁目14-6
	大曲東小学校	大曲光2丁目8
	大曲中学校	大曲中央2丁目4-1
西部地区	大曲ファミリー体育館	大曲中央2丁目4-3
	大曲会館	大曲中央2丁目4-5
	大曲ふれあいプラザ 夢プラザ	大曲工業団地7丁目3-1 大曲370-2
西部地区	西部小学校	輪厚508-3
	西部中学校	輪厚中央1丁目12
輪厚児童体育館	輪厚中央4丁目12-19	

▲印の避難所は、大雨・洪水時には利用できません。

◆市内には33カ所の指定避難所

指定避難所一覧を参考にして、自宅から近い避難所を確認しましょう。

◆安全を確保して余裕を持った避難を

●避難するときには、たくさんの危険が

道路が冠水しているとマンホールや側溝が確認できず大変危険です。家の近くに崖や沢がある場合は、崖崩れ、土石流などの危険もあります。日頃からマンホールや側溝の場所、崖など危険箇所を確認しておきましょう。

地震で電柱が倒れ、電線が切断されると感電する可能性があります。近づいたり触れたりすると大変危険ですので、絶対に近寄らないようにしましょう。

●車を利用せず歩いて避難

冠水した道路を車で走るのは危険です。水がエンジンまで達すると、止まる恐れがあるからです。水圧でドアが開かなくなって閉じ込められる可能性もあります。

●避難するときは2人以上で

途中でけがをする場合もあるので、一人での避難は危険です。また、途中で助けを求めている方がいるかもしれません。家族や近所の皆さんと一緒に避難しましょう。

防災映画

「マグニチュード」

鑑賞会

9月11日(金) 第1回 午後1時～2時40分
第2回 午後6時～7時40分

芸術文化ホール活動室

阪神・淡路大震災の教訓を風化させまいと制作された映画「マグニチュード」。消防に携わる親子の活躍を通じ、震災という極限状態の中で試される人間の絆を描いた、感動の人間ドラマです。

震災から20年、節目の年にぜひご覧ください。

定員 各先着150人



若葉町自治会会長 小田章雄さん
お話を伺っています。

若葉町自治会では、「いざというとき、互いに助け合って、支え合っていける組織」を目指し、6月21日に防災の出前講座を受講しました。

地震発生時に大切なのは、まずは自分の身を守ること。次に地域での助け合い、そして救助隊などの助けを待つこと。阪神・淡路大震災で救われた方の9割以上が隣人や家族などに助けられたと聞き、いかに地域の力が大切かを感じました。

地図を見ながら避難経路の確認も行いました。経路上には、倒れた家屋や切れた電線などいろいろな危険が想定されるため、イメージしておくだけでも違うと思います。

日頃から心構えや準備をすることによって、災害時の想定外のことにも対応できるのだと思います。

今後とも会員の皆さんと親睦を深めて、地域みんなで助け合える組織づくりを進めていきたいと考えています。

防災出前講座を受講して